

第2回 練馬光が丘病院跡施設活用検討会議 発言要点

	主な発言	ポイント
1	病院施設の状況について	
	<u>アスベストの使用状況</u> ・アスベストの使用状況	・これまでも、改修等の中で判明した場合に、その都度処理を進めてきている。 ・活用に向けた調査等の中で、対応していく。 【資料1 - 2】
2	活用に向けた意見交換について	
	<u>お泊り保育</u> ・周囲には公園があり施設にも厨房があるなど、環境面で適している。	・基本的に区立保育園では実施していない。例外的に一部の委託保育園においては、在園児を対象に実施している。 ・潜在的なニーズについては掴んでいない状況
	<u>食料備蓄施設</u> ・備蓄倉庫の拡大を行い、災害時に備える必要があるのではないか。	・発災時に必要な食料・飲料水や組立トイレ等の備蓄物資については、被害想定や過去の震災の教訓を踏まえ、整備計画をたてている。
	<u>長期療養児・難病児施設</u> ・長期療養児や難病児のための施設が必要ではないか。	・心身障害者福祉センターの中に、重症心身障害児および医療的ケア児を対象にした障害児保育園ヘレン中村橋を誘致している。 【資料1 - 3】 ・医療的ケアに対応したショートステイの整備は、新しく移転する練馬光が丘病院を含めた地域の医療機関と協議中である。
	<u>児童虐待対応</u> ・児童相談の機能をもった子育て支援施設が必要ではないか。	・「練馬子ども家庭支援センター」を移転し、センター内に都児童相談所の職員が滞在し業務を行う「区虐待対応拠点」を整備する予定。
	<u>医療・福祉の複合型施設</u> ・面積が広いため、一つの建物で医療・福祉施設を複数運営することも考えられる。その場合に課題はあるのか。	・他自治体の事例を見ると、複合施設によりハード面で運営が困難になるというより人材確保が課題になるようである。 (委員から他自治体における医療・福祉の複合施設として以下の紹介があった。)

		<p>日本赤十字社総合福祉センター（渋谷区）</p> <p style="text-align: right;">【資料 1 - 4】</p> <p>都立梅が丘病院跡地活用（世田谷区）</p> <p style="text-align: right;">【資料 1 - 5】</p>
	<p>区の財政面への寄与</p> <p>・跡施設の活用に当たり、行政サービスの向上と、事業者誘致による財政面への寄与のバランスをどう考えるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理想としては両方をカバーできればよいが、できるだけ財政面への負担をかけずに、公共的なニーズに合うものが良いと考えている。 ・跡施設活用では、区内の他事例にあるように、行政サービスも提供しつつ歳入が得られる方向性も良いのではないかと。
	<p>跡施設に求める機能</p> <p>・跡施設に求める機能の検討の方向性をどうするか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護・看護の機能を求めるという方向性が良いのではないかと。 ・介護・看護のどちらか単一の機能を求めるか、複合型施設としての機能を求めるかをこの検討会では結論付けず、多様な提案を受け止められる形で方向づけるのが良いのではないかと。 <p style="text-align: right;">【資料 2】</p>